

水産の窓

30年—No. 49
平成31年3月12日
茨城県水産試験場

産地市場における衛生管理の取組事例紹介

水産試験場では、産地市場の衛生管理推進を図るため支援を行っています。
今回、「浜の活力再生プラン推進事業」を活用し、市場の衛生管理に積極的に取り組んでいる「ひたちなか地方卸売市場」の漁獲物選別台導入状況について紹介します。

平成30年3月那珂湊漁協において開催された「品質・衛生管理講習会」をきっかけとして、底びき網漁獲物の衛生管理を図るため、選別台を導入することとなりました。

試作の選別台は、久慈町漁協で既に導入されている選別台をベースに改良し、『那珂湊版選別台』として作製されました。

この選別台は、魚の落下防止と水抜きを両立させるため、台の縁辺部に落下防止板を間隔をあけて配置する工夫や、台の高さを魚カゴとの組み合わせで作業しやすい高さに調整ができる仕組みとしており、9月の解禁後に選別作業で使用されてきました。

また、平成31年2月28日には、作業スペースを拡大させ、必要に応じて落下防止板が取り付け可能な試作選別台の改良型『那珂湊版選別台』が納入されました。

今後、那珂湊漁協では、作製した選別台を運用していくとともに、市場衛生管理に係る協議会を立ち上げる予定としています。

水産試験場では、産地市場に対する衛生管理マニュアルの導入や水揚物の適切な管理等について引き続き支援をしておりますので、ご要望がありましたらお気軽にご相談ください。

(利用加工部，経営普及室)



品質・衛生管理講習会の様子



試作『那珂湊版選別台』



改良型『那珂湊版選別台』

【次号予告】H31.3.19発行の水産の窓は、「3月の海況と今後の予測」を予定しています。